



SHONAN

しょうなん

MAIL

メール

Contents

2-3 P 麻酔科より

麻酔科の紹介

4-5 P 部署紹介

リハビリテーション科

6-7 P トピックス

- ・「男の料理教室」と出張講演「脳卒中の予防と治療」
- ・面会をされる方へ
- ・耳鼻咽喉科からのお知らせ
- ・第13回 徳洲会グループ統一患者さま満足度アンケート調査
- ・患者さんの声

理念

「生命を安心して預けられる病院」
「健康と生活を守る病院」



コスモス

麻酔科

紹介

麻酔科 主任部長 小出康弘

2015年7月より新たに部長に就任しました小出です。麻酔科の紹介をさせていただきます。

常勤の麻酔科医は18名在籍しております。地下に手術室を増設して、2015年4月から病院内の手術室が15室（その他に専用の手術処置室が5室）となりました。手術件数も徐々に増加しており、湘南鎌倉総合病院では年間約8,700件の手術を行い、その内5,000件程が手術室にて麻酔科医師が患者さんの側で麻酔の管理を行っています。

最近の麻酔薬は安全で調節性に優れたものになり、麻酔中に行うモニタリングの機器も進歩したため、高齢者に対する手術も安全に行えるようになりました。麻酔は飛行機に搭乗するよりも安全であると言われていますが、それは術前検査などで特に問題がない人を対象とした場合です。



周術期管理

麻酔科では、麻酔を依頼されたすべての患者さんが安全に手術を行えるように麻酔科術前外来を必ず受診していただくことにしております。患者さんからの詳細な問診や診察を行うことによって、手術における危険性などを評価して、安全な麻酔計画を立てています。

特に心臓や肺に問題を抱えている患者さんの手術では、手術中だけではなく、周術期（術前、術中、術後）の一貫したケアが必要になります。手術前に詳細な検査が必要になる場合や、内科的疾患のコントロールが不良状態の場合では、改善するまで手術を待機したりすることもあります。

よりよい周術期管理を目標とする場合、それぞれの各診療科で手術前後のケアを行うことの限界が指摘されており、病院全体のチーム医療の実力が今後大事になると考えています。

湘南鎌倉総合病院ではJCI認証病院として、品質改善に向けた努力を病院全体として取り組んでおり、周術期ケアについても今後さらなる改善に向けた取り組みを行うことを目標としております。

麻酔科医の仕事

手術中の麻酔管理だけでなく、術前術後の患者さんの状態を良好に維持・管理するために細心の注意を払って診療を行う専門医です。

麻酔をかけるだけでなく、手術中は患者さんの側に付き添い生理状態を観察し、手術後は患者さんの呼吸・血圧・心拍数の安定や意識の回復を確認するのも麻酔科医の仕事です。

JCIとは

JCI (Joint Commission International) とは、世界水準の医療施設評価機構のことです。

当院は、日本で4番目に取得しました。



▲2015年4月に増設された
地下手術室



▲麻酔科スタッフ

麻酔による合併症

麻酔科では手術によって合併症が生じないように努力をしています。さらに周術期を快適に過ごしていただきたいと考えています。

合併症は起きなかったけれども、手術後の痛みが辛く、それが2ヵ月以上経ってもまだ痛いというような患者さんや、手術後に悪心・嘔吐が続いて辛かったという患者さんもおられます。

このような周術期の快適性を損なう事象についても改善することを目指してまいりますので、以前の手術で困ったことがあった場合には麻酔科術前外来でお話し下さい。

周術期の快適さを損なうようなことが少なくなるように、担当麻酔科医が可能な限り努力いたします。

近年の手術



最近では、従来の手術よりも低侵襲化した手術が数多く行われるようになってきています。創傷を小さくすることや、内視鏡・ロボットを使用する方法です。その顕著な例として、狭窄した大動脈弁を人工弁置換する手技をカテーテルで行う**TAVI/TAVR**と呼ばれる手術があります。

上記のような先進的な治療においても、**ハートチーム**の一員として麻酔科のメンバーが深く関与しており、安全を意識しながら幅広い患者さんにも恩恵が得られるように、この分野をリードしてゆくことを目標としています。



TAVI (Transcatheter Aortic Valve Implantation) または、TAVR (Transcatheter Aortic Valve Replacement) とは、経カテーテル大動脈弁置換術の名称です。

重症な大動脈弁狭窄症に対する新しい治療法で、開胸することも心臓を止めることもなく、カテーテルを使って人工弁を患者さんの心臓に留置します。

低侵襲（治療のために患者さんの体を傷つける度合いが少ないこと）に加えて、人工心肺を使用しなくて済むことから、患者さんの体への負担が少なく入院期間も短いのが特徴です。

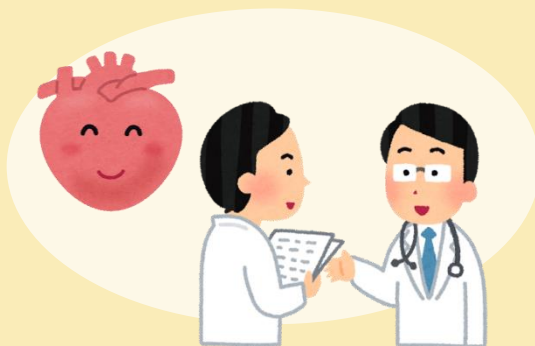
TAVI/TAVRには二通りのアプローチ方法があります。

①「経大腿アプローチ」

太ももの付け根の血管から挿入

②「経心尖アプローチ」

肋骨の間を小さく切開し、心臓の先端からアプローチ



ハートチームとは

循環器内科医、心臓血管外科医、麻酔科医、心エコー医、および看護師、理学療法士、放射線技師、臨床工学技士などのコメディカルによって結成されるのがハートチームです。

診療科の垣根を越えて、それぞれ専門分野の知識や経験を活かし、患者さんに一番良い治療を選択し、術後管理までそのすべてのプロセスをハートチームで行います。

リハビリテーション科

理学療法士：野田 玄 中出 裕一 作業療法士：黒木 裕介

～リハビリテーション科の紹介～

湘南鎌倉グループ病院・施設には現在135名（理学療法士：76名 作業療法士：45名 言語聴覚士：14名）のスタッフが在籍しており、当科の理念である「急性期から在宅まで患者さん中心の質の高いリハビリテーションの提供」「全人的リハビリテーションの追求」のもと、年中無休の体制で臨んでいます。

そもそも「リハビリテーション」とは何か…。

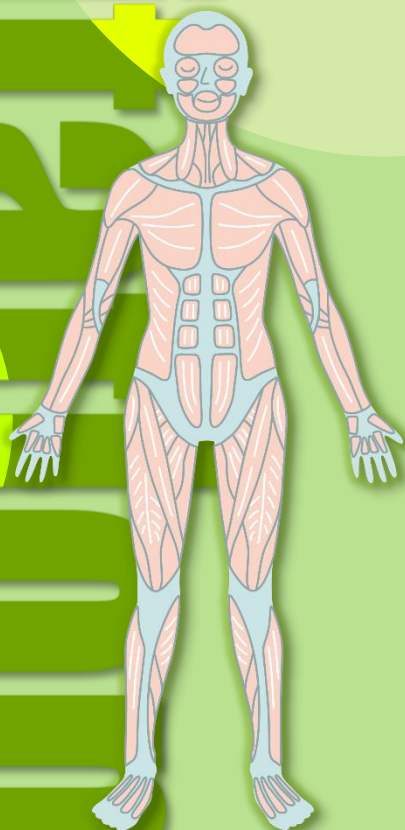
“Re(再び)+habilis（適した）”すなわち、“再び適した状態になること”とあります。調子が悪いのに、リハビリテーションなんてして大丈夫なの？と思う方もいるかもしれませんが、しかし、病気や怪我をした場合、予想以上に体力の低下、体の動かしにくさが早期から生じてしまいます。それらを最小限に食い止めるために、リスク管理（リハビリテーションによる有害事象を防ぐ）を行いながら入院早期よりリハビリテーションを行っています。

また、病気や怪我の程度によっては、発症・入院する前の体の状態に戻る事が困難になる事もあります。そんな時は“再び適した状態になること”を目標に支援しています。具体的には、可能な限り自分自身で容易に使用可能な補助道具の紹介（杖や自助具）や、社会資源の活用、環境調整や環境に慣れるための支援などを行い、その方の生活・社会を取り戻すサポートを行います。

～医師が必要と判断すればどんな方でも～

リハビリテーションと言いますと、多くの方は骨折などの運動器疾患や、脳卒中などの脳血管疾患を思い浮かべられるかと思います。ですが、私たちが医師からいただく処方箋の半数以上は内科や外科の患者さんのリハビリテーションなのです。

外科の患者さんに提供するリハビリテーションとしては、例えば集中治療室に入室中であっても手術後早期にベッドから離れ、座ったり、立ったり、歩いたりして少しでも元気に、一日でも早い退院を目指すことが主となります。





内科の患者さんのリハビリテーションでは、入院中の体力低下・筋力低下を予防して日常生活動作を低下させない（人の手が必要とならない）ことが主な目的となります。それ以外にも呼吸をうまく行うための呼吸リハビリテーションや、心臓の状態に合わせて行う心臓リハビリテーション、糖尿病患者さんへの運動指導、食事の際の飲み込みの練習なども積極的に行っています。また今秋より、がん患者さんに対するリハビリテーションも強化していく予定です。

体力が落ちてしまうと、身体が治療に耐えられなくなってしまうこともあるため、どんなご病気をお持ちの方であっても、医師が必要と判断すれば私たちは皆様の生活を支えるお手伝いをしたいと考えています。

～地域とのつながり～

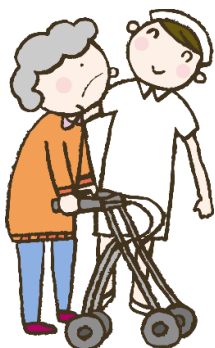
当院のリハビリテーション科は、主に急性期リハビリテーションと位置づけられています。

急性期病院である当院の役割は病気やけがの**治療**であり、入院期間も短い事が特徴です。このため、当院での入院期間のみでは目標を達成することが困難な場合もあります。

これに対し当院は、鎌倉周辺地域のリハビリテーション専門病院や介護老人保健施設、訪問看護ステーションなどと連携をとり、患者さんを地域全体で診るという方法をとっています。

特に脳卒中や大腿骨骨折の患者さんの診療は地域全体で行っており、「地域連携パス会議」を定期的に開催して、医療者たちの意思疎通を図っています。また他にも、地域の方々に向けた情報発信として、公開講座をリハビリテーション科でも行っています。近年では“予防医療”が大切と言われおり、肩・腰・膝の健康体操をご紹介しますので、ご興味のある方は参加をお待ちしております。

今後も、地域住民の方々にはリハビリテーションの情報を発信し、皆さんの健康維持に貢献できるようスタッフ全員で取り組んで参ります。



理学療法士

Physical Therapist
(PT)

身体に障害がある方に対して、基本的な動作能力の回復を図るために、運動療法を行ったりなど、物理的手段を用いて機能向上の補助を行う。



作業療法士

Occupational
Therapist (OT)

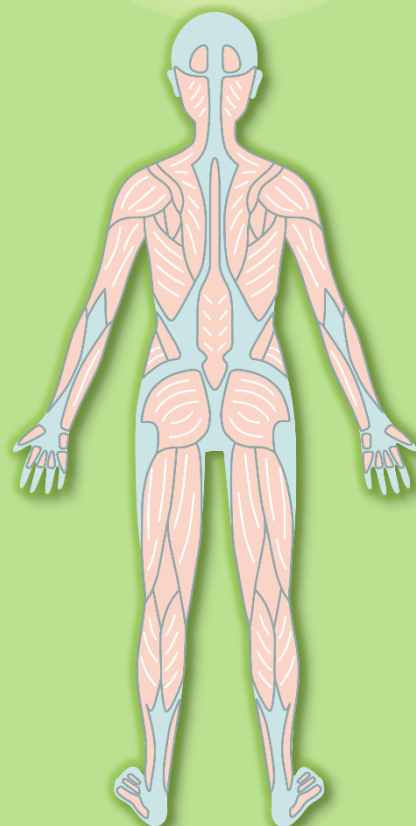
移動や食事、排泄や入浴などといった日常生活動作などの訓練や、手工芸などの行為を通して、社会復帰するため必要な日常動作がスムーズになるように補助を行う。



言語聴覚士

Speech – Language-
Hearing Therapist
(ST)

音声機能や言語機能、聴覚に障害のある方へ、機能の維持向上を目的として言語などの訓練や指導、その他の援助を行う。



A stylized illustration of a human head in profile, facing right. The head is light orange. Inside, the brain is depicted in red with branching structures. The spinal cord is shown in a lighter pink color, extending downwards from the base of the brain. The face has a simple black dot for an eye and a curved line for a smile. The background is a solid light brown color.

煮干し



写真中央が
藜沼誠一さん

医療講演の様子

[illegible]

来院者カード回収
箱にお入れください
Please place the card
into the slot after
your visit.

来院者カード回収
箱にお入れください
Please place the card
into the slot after
your visit.

来院者カード回収BOX
(Inpatient Card Collection Box)

来院者カードを回収する
箱に入れています。
来院後、お帰りの際、この回収箱に
お持ち帰りください。
We have prepared a box to collect
inpatient cards. After your visit, please
bring the card back to this collection box.

6

耳鼻咽喉科からのお知らせ

9月から診療体制が変わります

耳鼻咽喉科の外来の診療体制が9月から変わります。

これまで休診日だった金曜日でも外来を行います。診療体制調整のため、9月1日から受付時間を短縮いたします。

診療体制変更で、皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。

耳鼻咽喉科の受付時間

月曜日～水曜日 金・土曜日 7:30 ～ 11:00 受付終了

木曜日 7:30 ～ 12:00 受付終了
12:30 ～ 16:00 受付終了



第13回 徳洲会グループ統一 患者さま満足度アンケート調査

「グループ統一患者さま満足度アンケート調査」の結果発表

「グループ統一患者さま満足度アンケート調査」を行い、結果を「患者さんの声コーナー」に掲示しております。皆様には配布・回収等でご迷惑をおかけ致しました。結果は病院のこれからの改善活動に活用させていただいております。

期間中はたくさんのアンケートを頂くことができました。ありがとうございました。

入院



外来



向上委員会



患者さんの声

このコーナーでは、病院に寄せられたご意見の一部をご紹介します。

また、1階エスカレーター正面にご意見の投書箱があり、掲示板にて改善や投書の回答を行っております。ご興味のある方は、掲示板もご覧ください。



患者さんの声コーナー

Q

女性トイレのドアの裏のフックを低い位置にしてほしい。高すぎて届かないので。



A

ご意見いただきありがとうございます。

ご不便をおかけしております。位置については低く設置すると、顔面部分に近くなり事故の危険性が高く、付け替えることができません。その為今回、女性用のお手洗いに荷物置きを設置いたしました。便座背面にある棚とご一緒にお使いください。



医療法人
沖縄徳洲会

湘南鎌倉総合病院



〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本1370-1
代表：Tel 0467-46-1717(代表) Fax：0467-45-0190
しょうなんメール編集・発行：湘南鎌倉総合病院 年報広報誌委員会
ホームページアドレス：http://www.shonankamakura.or.jp



ご来院される方にシャトルバスの運行も行っております。詳しくは院内で配布のシャトルバス時刻表か、ホームページをご覧ください。また、「しょうなんメール」のバックナンバーもホームページでご覧いただけます。

湘南鎌倉総合病院

検索

クリック！

公共交通機関でお越しの方へ

大船駅より来院される方

●大船駅西口（大船観音側）

1番乗場 神・船31 渡内経由 「慈眼寺」行
船32 渡内経由 「藤沢駅北口」行
公会堂前下車
神・船101 城廻中村経由 「大船駅西口」行
船102 公会堂前経由 「城廻中村」行

2番乗場 神・船34 公園前経由 「南岡本」行
南岡本下車

●大船駅東口交通広場ターミナル （湘南モノレール駅下バスターミナル）

2番乗場 江・藤沢[弥]大船
南岡本下車
四季の杜・武田薬品前経由
「藤沢駅（北口）」行
江・南岡本経由 「四季の杜」行

藤沢駅より来院される方

●藤沢駅北口（さいか屋・ビックカメラ側）

4番乗場 神・船32 渡内経由 「大船駅西口」行
公会堂前下車

9番乗場 江・藤沢[弥]大船 武田薬品前経由
南岡本下車 「大船駅」行

●藤沢駅南口（小田急デパート側）

8番乗場 江・5301 アズビル前・武田薬品前経由
湘南鎌倉総合病院下車 「湘南鎌倉総合病院」行

関連施設

●葉山ハートセンター

神奈川県三浦郡葉山町
下山口1898-1
TEL 046-875-1717

●湘南厚木病院

神奈川県厚木市温水118-1
TEL 046-223-3636

●湘南鎌倉人工関節センター

神奈川県鎌倉市台5-4-17
TEL 0467-47-2377

●湘南葉山デイクアクリニック

神奈川県三浦郡葉山町
一色1746-2
TEL 046-876-3811

●湘南かまくらクリニック

神奈川県鎌倉市山崎1202-1
TEL 0467-43-1717

●大和青洲病院

神奈川県大和市
中央林間4-25-17
TEL 046-272-9300

●介護老人保健施設 ゆめが丘

神奈川県横浜市泉区
和泉町1202
TEL 045-800-1717

●介護老人保健施設 かまくら

神奈川県鎌倉市上町750
TEL 0467-42-1717

●介護老人保健施設

リハビリケア湘南かまくら
神奈川県鎌倉市山崎1202-1
TEL 0467-41-1616

●介護老人保健施設

リハビリケア湘南厚木
神奈川県厚木市戸田2446-15
TEL 046-230-5111

●特別養護老人ホーム

かまくら愛の郷
神奈川県鎌倉市植木683-10
TEL 0467-41-1122

●特別養護老人ホーム

逗子杜の郷
神奈川県逗子市沼間1-23-1
TEL 046-870-6800

Access Map

最寄駅 JR大船駅



駐車場利用 について

湘南鎌倉総合病院駐車場

外来患者

一般・面会

料金体系

最初2時間 200円
以降1時間 100円

1時間 200円

※外来患者さんは診察券が無いと一般料金となります

地上

地下

営業時間

0:00~24:00

7:00~21:00

台数

28台

179台

コーナン鎌倉モール

1時間 200円 当日最大1000円 お買い上げで180分無料